

株主のみなさまへ

アクモスグループの新鮮情報をお伝えするIRマガジン

アクモス ハイウェイ



ACMOS Highway



[特集1]

上半期総括

業績とM&Aの成果について

[特集2]

ホームページ リニューアル

[アクモス・ジャンクション]

■インタビュー

株式会社マックスサポート
代表取締役社長 柳沢 知秀

■トピックス

アクシスコンサルティング株式会社
「中国大連IT業界視察・面接ツアー開催」
アクモス株式会社
「内部統制研修 2006年シリーズ終了」

2007
SPRING
02

アクモス ハイウェイ
AH02
2007 SPRING

目 次

- P 1 目次／株主のみなさまへ
- P 2 グループ業績ハイライト
- P 3 主なグループ事業の概況
- P 4 グループ概況図
通期業績見通し
- P 5 [特集1]
上半期総括
業績とM&Aの成果について
- P 7 [特集2]
ホームページリニューアル
- P11 アクモス・ジャンクション
●インタビュー
●トピックス
- P13 株主様アンケートへのご協力をお願い
会社概要
- P14 株主メモ
株式事務関係のお問い合わせ先

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、日頃より格別のご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。

当社グループは、当連結会計年度より中期事業計画（2007年～2009年）の実行を開始いたしました。最初の6ヶ月にあたる当中間連結会計期間の売上高は前年同期を975百万円上回る2,004百万円（前年同期比94.7%増）、経常利益は28百万円（前年同期は25百万円の経常損失）、中間純利益は55百万円（前年同期比158.8%増）となりました。

また、おかげさまで、昨年12月には制度信用銘柄及び貸借銘柄としての選定を受けました。これもひとえに株主のみなさまのご支援・ご協力の賜物であり、重ねて御礼申し上げます。

延べ36ヶ月に及ぶ中期事業計画は、始まったばかりでございます。今後とも業績向上、中期事業計画の遂行に努めてまいりますので、一層のご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



2007年3月
代表取締役 飯島 秀幸

グループ業績ハイライト

❖ 連結経営成績 ❖

		第13期末 ('04/6)	第14期末 ('05/6)	第15期末 ('06/6)	第15期中間 ('05/12)	第16期中間 ('06/12)
売上高	(百万円)	1,446	2,064	3,438	1,029	2,004
経常利益	(百万円)	53	80	160	△25	28
中間(当期)純利益	(百万円)	6	36	91	21	55
1株当たり中間(当期)純利益	(円)	526.48	493.47	853.52	233.35	544.94

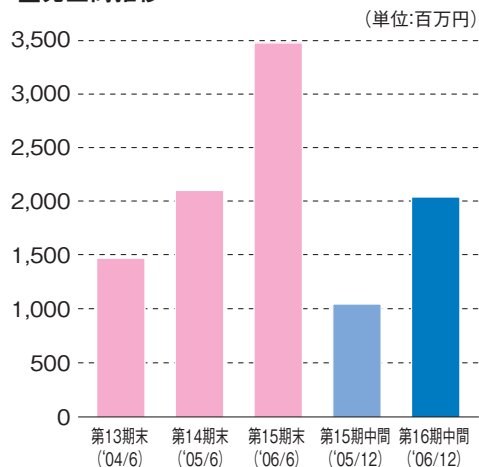
*△印は損失を示しております。

❖ 当中間決算のポイント ❖

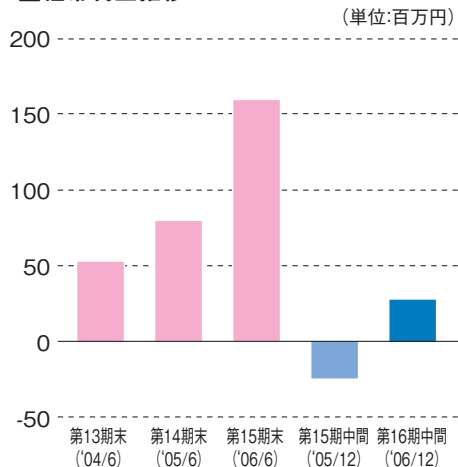
上半期売上高20億円となり、前年同期比でほぼ倍増の売上高を達成。

1. 売上高2,004百万円(前年同期比94.7%増)
2. 経常利益28百万円(前年同期は25百万円の経常損失)、上半期経常黒字化
3. 中間純利益55百万円(前年同期比158.8%増)

■ 売上高推移



■ 経常利益推移

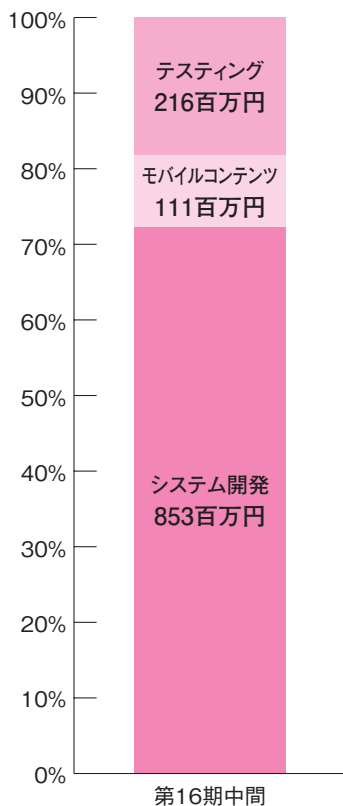


主なグループ事業の概況

❖ 情報技術事業 ❖

1,181百万円 (前年同期比51.8%増)

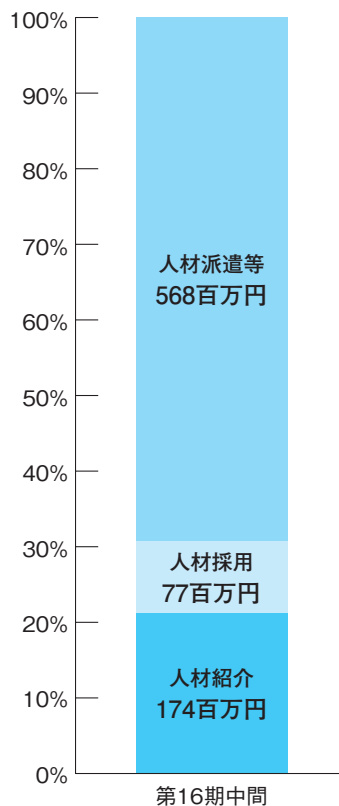
システム開発事業が情報技術事業全体の業績を牽引し、当中間連結会計期間中に行なった子会社一社の売却による減収の影響を完全に吸収した上、前年同期比51.8%増の増収となりました。



❖ 人材事業 ❖

820百万円 (前年同期比225.3%増)

前年同期との比較で225.3%と大幅な増収となった人材事業ですが、その主な理由は、人材派遣・広告関連事業の株式会社メリトの業績が、当中間連結会計期間より、連結の対象となったことによるものです。



人材とITのソリューショングループ



* 株式会社メリトは、2007年1月22日付で人材事業を分社型新設分割により会社分割いたしました。子会社、孫会社とも株式会社メリトの商号ですが所在地は異なっております。また、孫会社の株式会社メリトが、一般労働者派遣事業、有料職業紹介事業の認可を受ける2007年4月以降に子会社の株式会社メリトは社名を変更する予定であります。

通期業績見通し

展望

通期連結売上高は、初の50億円台へ

日本経済の今後の動向については、懸念材料はあるものの、人材や設備の不足感による企業投資は堅調に推移するものと考えられます。

下半期からは、上半期に取得した子会社、孫会社の業績が連結業績に加わることもあり、連結売上高は57億円、連結経常利益は2.1億円、当期純利益は1.1億円を見込んでおります。

●通期連結業績予測

売上高	57.0億円
経常利益	2.1億円
当期純利益	1.1億円

各予測数値は、予測の作成日において入手可能な情報や将来の業績に影響を与える不確実な要因についての仮定の分析に基づいており、実際の業績は今後の様々な要因によって予測数値と異なる場合があります。

上半期総括

業績とM&Aの 成果について

中期事業計画(2007年~2009年)の最初の6ヶ月である上半期について、飯島社長に聞きました。

Q.上半期の業績は年初(2006年8月11日発表)の予想を上回る結果となりましたが、どのようにお考えですか?

□上半期の業績

まず、何事もどのようにスタートを切るかということは今後大きく影響しますから、当社として初めて取り組んでいる中期事業計画の初年度をいい形でスタートできたのではないかと思います。

上半期の売上高は20億円で、前年同期との比較では94.7%増となりました。前年にM&Aで子会社化したグループ企業の業績への寄与が現れた結果です。

環境の変化や競争の激化に直面しているグループ企業の中には計画数値を下回った企業もあり、全てにおいて順調というわけではありませんが、年初の業績予測を上回る結果となったことは、着実な一歩を踏み出すことができたと考えております。



Q.上半期の成果としてはどのようなことがあげられますか?

□前年度のM&Aの成果が現れる

そうですね、実績面での成果からお話しますと、前年に実施したM&Aにより二社を連結対象としたことが増収に貢献したと言えます。期首に株式会社エルテックスを売却しましたから、単純に言えば前中間期に4億円余りの売上高を上げていた企業が連結対象から除外されたわけですが、この影響を完全に吸収して前年同期比で約10億円の増収となりました。

また、経常利益は28百万円ですが、黒字化できたことを成果として捉えています。上半期のマイナスを背負って下半期をスタートすることは、最初からハンデを負っていることになります。これまで上半期の収益力の改善に取り組んでまいりましたので、こうした数値を実績として残せたことは嬉しいことです。

□株式会社マックスサポートを子会社化

連結範囲の異動状況をご報告しますと、新規取得

は二社、売却による除外が一社になりました。新規に取得した二社の業績は下半期から連結の対象になります。特に、昨年12月に軽作業系の人材派遣事業を主力事業とする株式会社マックスサポートを買収できたことは、中期事業計画において、人材とIT(情報技術)のソリューショングループの創設を目標に掲げている当社にとっては大きな意味をもつM&Aとなりました。

Q.下半期の展望をお聞かせ下さい。

□通期予測、売上高57億円 経常利益2.1億円

下半期の展望ということになりますと、既存事業では3月決算の企業様を数多くお客様としておりますので、第3四半期の業績で成果を残すことが重要になります。下半期から連結対象子会社が増えますので通期の売上高は57億円を見込んでおります。

経費面では、事業の伸長により当社グループにおいても中途採用による増員や設備投資を行っておりますので、前年比で増加傾向にあります。業務プロセスの改善により業務を効率化し、通期の経常利益予想2.1億円、当期純利益予想1.1億円の達成に努めてまいりたいと思います。

Q.連結売上高の増加に比べて利益面での伸びが少ないように思いますが？

□収益性の向上に引き続き取り組む

ここ数年はコストの抑制に努めてきました。一方で事業の伸長に合わせた従業員の増員や設備の充実は不可欠で、投資とコスト削減のバランスを取る必要があります。また、グループ企業の利益率にはバラツキもありますから、3年後の連結経常利益10億円(経常利益率10%)という数値は、容易な数値ではあ

りません。

既存事業においては、企業ごとの収益性に着目し、収益性の高い事業領域の強化や売上構成の見直しを行なう必要があります。

また、これまでと同様にM&Aを成長戦略の中心に据えて中期事業計画を進めてまいります。今後は、収益性の向上や利益貢献を重視して対象企業を選定し、経常利益目標の達成を目指します。

Q.株主のみなさまに一言お願いします。

最近、ある株主様から「名前も業種も何をやっているのかわからないので株価が低迷しているのはいいか?」というご意見をお寄せいただいたとの報告がありました。

確かにアクモスという社名の由来(Analog CMOS)となっている半導体事業からは撤退いたしましたし、所属業種も情報通信へと変更となっております。当社はこれからも経営方針にもありますように「新たな可能性に弛まぬ挑戦」を続けてまいりますので、ご理解を賜りたいと思います。

外部要因もあってM&Aを活用する新興市場企業への投資家の選別の目が厳しくなっていることも事実です。私は、真摯な企業活動によって実績を上げてご信頼にお応えしていくしか方法はないのではないかと考えております。

利益還元策については、安定的な配当の実現前提となる収益の持続的な確保を第一に取り組んでおりますので、引き続き株主のみなさまのご支援を賜りますようお願いいたします。

*上記の内容のうち、将来予測に関わる数値や将来に言及した内容については、今後の経済状況などの環境変化によって、実際とは異なる場合がございますので、予めご了承下さいませようお願い申し上げます。

ホームページリニューアル

2006年11月にホームページのデザインを全面リニューアルいたしました。また、「パソコンはちょっと苦手だから…」というみなさまのお声を受けて、お手持ちの携帯電話でもご利用いただけるモバイル版IR情報サイトを開設いたしました。

ホームページ、モバイル版IR情報サイトを通じて、最新の情報を発信しておりますので、ぜひご活用ください。

ホームページのご紹介

インターネットをご利用いただけるパーソナルコンピューター(PC)があれば、ホームページ上の最新情報のご利用が可能です。

●トップページを見るには…

トップページは玄関のようなものです。当社やグループ企業の事業内容、IRニュース、アクモスニュースなど、アクモスグループの様々な情報をご利用いただくためのスタートのページです。



ブラウザのアドレスに

<http://www.acmos.co.jp/index.html>

を入力する

または

検索エンジン(Yahoo!やGoogleなど)

アクモス

検索

クリック

ジャスダックの株価ページへリンク

クリックするとご意見・ご要望用のメールフォームが開きます。*

最新のIRニュース

IR以外の最新ニュース

*個別のご質問にはご回答できない場合がありますのであらかじめご了承ください。



株主様向け情報ページ
<http://www.acmos.co.jp/ir/stockholder.html>

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行のホームページへのリンクなど、株主様向けの情報をまとめております。

株式の手続きについては株主様向け情報のページをご利用ください。



ライブラリ(IR資料)ページ
<http://www.acmos.co.jp/ir/library.html>

株主様アンケートでもご要望を多くいただいたライブラリでは、決算概要など、現在、過去のIR資料をご覧になれます。

ホームページの項目のうちIRニュース、ライブラリ(IR資料)、決算短信については、IR情報専門サイト「Corporate Direct」とリンクしております。
 当社情報掲載： <http://www.c-direct.ne.jp/japanese/dj/dj-main.asp?GSCODE=10106888>
 トップページ： <http://www.c-direct.ne.jp/japanese/dj/dj-index.asp>



アクモス(株)

コード: 6888

市場: JASDAQ

業種: 情報・通信

単元株数: 1株

New 最新ニュース

- ◆ [会社概要](#)
- ◆ [業績推移](#)
- ◆ [企業理念](#)
- ◆ [事業内容](#)

新作配信開始


「開拓生活 ワールド・ネ

◇ [携帯電話用コンテンツ](#) ◇

終値を見る

当社の終値を無料でお

「終値くん」について
[利用する](#)

最新ニュースを受取る 
[利用する](#)
[解除する](#)

- [サイトについて](#)
- [利用規約](#)
- [対応機種一覧](#)

モバイル版IR情報サイトのご紹介

モバイル版URL : <http://m-ir.jp/c/6888>

QRコード :



携帯電話のカメラを利用したバーコードリーダー読み取り機能で簡単にアクセスできます。

最新のIRニュースやPR情報を掲載しております。

利用の登録をすると毎日17時30分頃に当日の終値をメールでお知らせします。

アドレス指定受信をご利用の方は「msv@m-ir.jp」、ドメイン指定受信をご利用の方は「m-ir.jp」を受信リストに追加してから登録手続きを行ってください。

最新ニュースの更新についてメールでお知らせを受けることができます。

アドレス指定受信をご利用の方は「msv@m-ir.jp」、ドメイン指定受信をご利用の方は「m-ir.jp」を受信リストに追加してから登録手続きを行ってください。

ホームページリニューアル **こぼれ話**

えっ ホームページをご覧になっていない株主様の割合が44パーセントお!

すべては、事業統括室に届いた驚きのアンケート結果からはじまった…

2006年春の株主様アンケートの結果が届いたのは、2006年6月上旬のこと。

第16期事業年度でホームページのリニューアルを計画していた事業統括室は、第6問でホームページの利用状況と新設を希望される内容について株主様にお尋ねした。

その結果、ホームページの情報を見ていないとお応えいただいた株主様が44%だったのだ。4割がご覧になっていない…。厳しい結果に言葉を失う。

「そうだ。やっぱりリニューアルしかない。」 こうしてリニューアルプロジェクトは始まった。

「カッコいい」の一言に悩む

今、トップページを開いていただくと、Flashという機能を利用してアクモスグループのキーワードが象徴するイメージ画像とともに流れるように現れる。11月のリニューアルには間に合わなかった部分である。飯島社長からの唯一といってもいい指示は、「カッコいいものを」の一言だった。

この「カッコいい」の一言には、社員もWebデザイン会社も悩みに悩んだ。全体的に爽やかな色使いとFlashの利用を決めたのは、少しでも「カッコいい」に近づこうとした結果なのだが、株主のみなさまのご感想は？

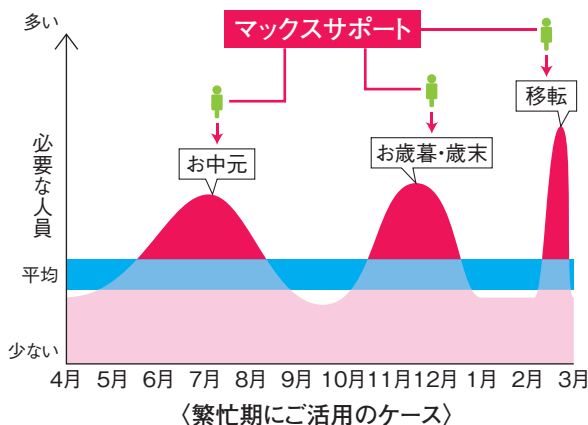
「軽作業系人材派遣分野において圧倒的なQuality (品質) No.1を目指します。」

● 365日年間中無休対応の人材のコンビエンスストア

Q. どのような事業を行なわれていますか？

当社のお客様は上場企業など法人のお客様が中心ですが、企業活動には繁忙期もあれば閑散期もあります。当社は、365日年間中無休のコンビエンスストア感覚でご利用いただける軽作業系の人材派遣事業を行なっております。

業務分野では、主に物流分野での移転作業や倉庫内での作業などに当社の登録スタッフをご活用いただいております。また、特徴的な分野としては、テレビ局や劇場といったエンターテインメント分野があり、大道具などの裏方の業務、その他イベントなどへもスタッフを派遣しております。



● 登録スタッフの教育を重視

Q. 登録スタッフについてお伺いします。

学生、フリーターを中心とした20代のスタッフで、登録数は変動しますが約4万5千人～5万人で推移しております。男女比では、男性2に対して女性が1の割合です。フリーターの方々には、数多くの業種分野をご経験いただいて、ご自身の技能に応じた適職を見つけ定職に就くためのご支援ができればと考えております。

登録スタッフの質の向上はお客様に対するサービスの充実には不可欠ですから、お客様とスタッフの間で調整業務を行なう内勤社員についても9割程度は現場経験者を配置し、お客様のご要望に沿ったスタッフ教育の徹底に努めております。

● 首都圏へのドミナント出店。オフィスワークサポート、紹介予定派遣事業を強化

Q. 今後のエリア展開・事業展開についてはいかがでしょうか？

現在、首都圏地区、東海地区、関西地区、九州地区に支店を設置しておりますが、そのうち首都圏において集中的に出店する計画です。新規出店はコスト要因でもありますので、出店率は既存店比で10%程度に抑え、収益性とのバランスを考えながら出店を進めております。業務分野では、コールセンター業務などオフィス関係の支援業務の需要が増えており、オフィスワークサポート業務を推進しております。また、登録スタッフの就職支援と3年後の営業利益率10%を達成するため、収益性の高い事業でもある紹介予定派遣事業に力を入れております。



株式会社マックスサポート

本店 / 〒160-0023 東京都新宿区西新宿七丁目1番10号 守矢ビル6F

TEL:03-5330-1431 FAX:03-5330-1433

http://www.maxsupport.co.jp/

業務内容 / 総合人材アウトソーシング

業務領域 / 物流・流通・イベント・ディスプレイ・オフィスワーク他

代表取締役社長
柳沢 知秀

スピード
対応

スポット
対応

マンパワー
対応

トピックス

アクシスコンサルティング株式会社 中国大連IT業界視察・面接ツアー開催

外国人のIT技術者の紹介予定派遣事業を開始したアクシスコンサルティング株式会社は、2006年10月に第1回中国大連IT業界視察・面接ツアー（3泊4日間）を実施いたしました。

大連の日本向けオフショア開発拠点でもある大連软件园有限公司や理工系大学、日系企業の現地法人などを訪問いたしました。中国ビジネスや中国人IT技術者の活用を検討している企業様向けに今後もツアー企画を行なう予定にしております。



大連软件园にて



大連软件园全景模型

トピックス

アクモス株式会社 内部統制研修 2006年シリーズ終了



当社では、グループ内の管理部門の担当役員・従業員を対象とした内部統制研修を9月から12月までの4回に亘って実施いたしました。

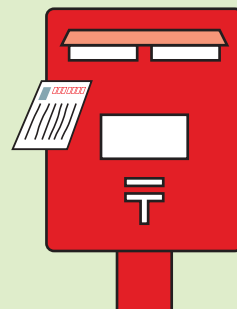
最終回の12月は、当社の非常勤監査役（弁護士）の星野隆宏を講師に迎え、内部統制の基盤でもある「アクモスグループのコンプライアンス」をテーマに、法令順守や企業の社会的責任の重要性についての研修を行いました。

株主様アンケートへのご協力をお願い

当社では、株主様のご意見・ご要望を活かしたIR活動を行なうため、株主様アンケートの結果を重視しております。お一人お一人からいただくご支援のお言葉やご要望、また、時には厳しいご意見のひとつひとつが、当社のIR活動や事業活動の充実には欠かせません。

お忙しい中大変お手数をおかけし申し訳ございませんが、ぜひ株主様アンケートにご協力くださいようお願い申し上げます。

なお、アンケートの結果の主な内容につきましては、今秋発行予定の2007年6月期コーポレート・ガイドの誌上において、ご報告いたします。



締め切り日は…2007年4月30日(月曜日)

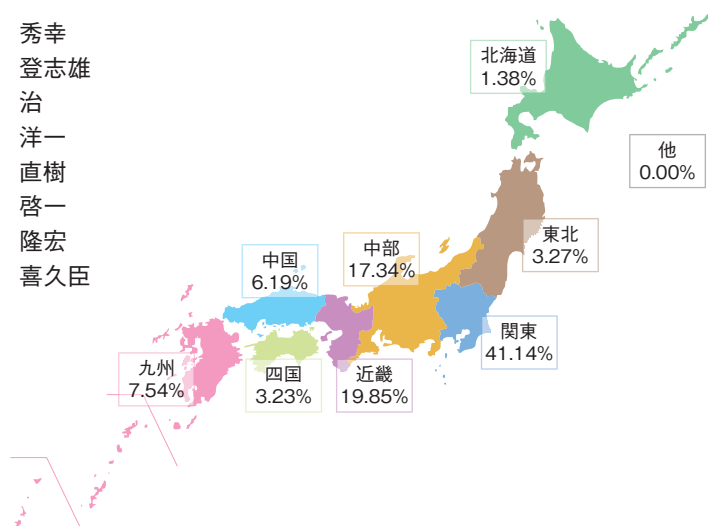
□会社概要

商号	アクモス株式会社
設立	平成3年8月23日
資本金	6億9,325万円
本店	東京都千代田区神田神保町三丁目23番地 神保町錦明ビル
役員	代表取締役社長 飯島 秀幸 取締役 金子 登志雄 取締役 宮本 治 取締役(社外) 柴田 洋一 取締役(社外) 島田 直樹 監査役(常勤) 荻原 啓一 監査役(非常勤) 星野 隆宏 監査役(非常勤) 平野 喜久臣
監査法人	ビーエー東京監査法人

●株式の状況

発行可能株式数 323,000株
発行済株式総数 102,155株
議決権を有する株主数 4,864名

●地域別分布状況



□株主メモ

- 事業年度 7月1日から翌年6月30日まで
- 定時株主総会 毎年9月下旬
- 公告方法 電子公告 http://www.acmos.co.jp/ir/brief_note.html
(電子公告により行なうことが事故その他やむをえない事情によりできない場合には、日本経済新聞に掲載して行ないます。)
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱所
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

同取次所
三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
野村証券株式会社 全国本支店

□株式事務関係のお問い合わせ先

- 株式に関するお手続き 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部テレフォンセンター
電話0120-232-711(通話料無料)
受付時間 土日祝日を除く 9:00-17:00
東京都江東区東砂七丁目10番11号(〒137-8081)
- お手続き用紙の請求 自動音声24時間受付 電話0120-244-479(通話料無料)
または、
三菱UFJ信託銀行 証券代行部 Webサイト
<http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

株券電子化 お早めにご確認ください



株券をご自宅や貸金庫などご本人で管理されている株主様は、株券のご名義をご確認ください。ご本人様の名義になっていないと他人名義のまま記録処理されることになり、株主としての権利を失う恐れがあります。

当社の株券をお持ちの株主様は・・・

株主名簿管理人三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレフォンセンター 電話0120-232-711 (通話料無料)
またはお近くの証券会社にご相談ください。

ACCESS TO ACMOS INC.



- ・地下鉄 九段下駅下車 6番出口から徒歩3分
(東京メトロ 東西線・半蔵門線 都営地下鉄 新宿線)
- ・地下鉄 神保町駅下車 A1番出口から徒歩5分
(東京メトロ 半蔵門線 都営地下鉄 新宿線・三田線)



アクモス株式会社

東京都千代田区神田神保町三丁目23番地 神保町錦明ビル
TEL.03-3239-2377 FAX.03-5275-2890